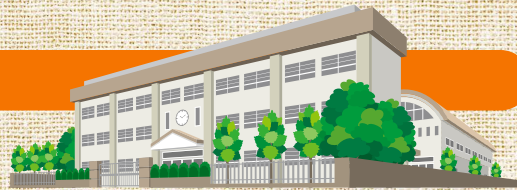


高校から依頼いただいた実施目的一例(実績)



関東地方・私立高校 対象学年:2年生

「主権者教育」の一環として

成人年齢が引き下げられ、来年には選挙権を手にする高校2年生の生徒たちに、どのように社会に目を向け、どのように社会の問題を捉えてアプローチしていくべきか、またそのためにはどのような情報を収集すべきか等についての講義をお願いしたいです。

関西地方・公立高校 対象学年:3年生

「キャリア形成」のため

生徒が日本や世界の情勢、SDGsを目標とする持続可能なコロナ後の社会について知り、自らの社会での役割について考えることで、高校卒業後の大学等での学びの指針になることを目的に、講義をお願いします。

関東地方・公立高校 対象学年:1年生

「メディアリテラシー」を身につけるため

価値観が多様化し、情報が氾濫している現代において、世界で、日本で起こっている出来事を多面的・多角的に分析するためのメディアリテラシーは必須の能力と言えます。本当のメディアリテラシーとは何かを具体例を交えつつ講義いただければと思います。

中国地方・私立高校 対象学年:1年生～3年生+保護者

「社会」に目を向けるため

日本・世界へ貢献したいという強い志を持つ若者を育てることが本校の理念・建学の精神です。現在の日本、日本を取り巻く世界について知ることによってどのように社会に貢献できるか、考える力を養うことを目的としています。

事務局宛てにいただいた高校生・保護者の皆様からの声(一部抜粋)



2年生
Aさん



選挙の一票は小さなものかもしれないけれど、0よりははるかに大きなもので、その一票が社会を変えるかもしれないということを聞いて、まだ私には選挙権は無いですが、今後政治に参加していく身として今のうちから社会について学んで、自分はどの選択をするのかを慎重に考えていこうと思いました。

2年生
Bさん



本当の現状を知らないままデマを流してしまったり、あからさまに批判してしまったりすることで社会全体がそのイメージを植え付けてしまい、差別がおこったり貧困の差が生じてしまったりしてしまうのだなと思い、もしかしたら、無意識に(反射的に)そうやっている自分がいるかもしれないとも思った。そのため、SNSや一部の人の意見を鵜呑みにするだけでなく、自分の目で見たり聞いたりできるようになればいいなと思った。

2年生
Cさん



私が特に印象に残ったのは、分からない明日だからこそ楽しもうという楽観主義が大切ということです。高校生活、悩みも多いけれど楽観的に考えるのが良いと知り前向きになれました。また、これから何が起こるか分からない未来だけど、なんだかワクワクとした気持ちになりました。なかなかない機会を設けていただき感謝しかありません。

1年生
Eさん



1つの情報だけを過度に信じたり、自分の考え方に固執したりするのはやめて、色々な意見に耳を傾けるようにしようと思いました。メディア関係の仕事に就いていた人のお話を聞けることは滅多にないので貴重な機会でした。知らない世界を見ることができて良かったです。ありがとうございました。

1年生
Fさん



間違った情報に踊らされることのないように、今のうちに幅広い知識を身につけることが大切だと分かり、勉強をもっと頑張ろうと思いました。専門知識をあまり持っていない一般の人でも何でも発信できるようになっている世の中で、全てをうのみにするのはなく、色々な立場に立って傷つく人はいないか、相応しい伝え方ができるかなど、頭を柔らかくして考えることができる人になりたいと思います。

保護者
Gさん



自分をとりまく、つながる社会の状況や動きを、先生ご自身の体験や具体的な話題を取り入れ、わかりやすい言葉や表現でよく伝わりました。子ども達の視野のひろがりや未来への考えのヒントになったと思います。

保護者
Iさん



とても聞き取りやすく、分かりやすい内容でした。過去・現在・未来と広がっていく内容が、これから子ども達の道しるべになったと思います。

保護者
Jさん



未来を作っていく子ども達だけでなく、その前の世代である我々にとっても、とても貴重なお話をありがとうございました。お話し下さった全てのことを子ども達にはかみみして生きていってほしいと思います。私自身もより一層意識をもって生活したいと思います。熱のこもったお話に涙が出ました。

※保護者の皆様からの声は、高校生と保護者の皆様にご参加頂いた講演会での感想です。